



も く じ

1. 令和3年度 大阪府登録文化財所有者の会 総会（17回）レポート

挨拶 会長 寺西 興一

令和3年度 第17回 総会 議事録

議案1号 令和2年度 事業経過報告

議案2号 令和2年度 決算

議案3号 令和2年度 監査報告

議案4号 令和3年度 役員改正

議案5号 令和3年度 事業計画

議案6号 令和3年度 予算

2. 令和3年度大阪府ヘリテージマネージャー育成講座内容

3. はじめよう、文化財の活用

4. 大阪文化財ナビ

5. 「歴史的建造物の保存と活用に向けて」

第1回 歴史的建造物の保存・修復・活用と景観の継承

5月22日（土）南天苑（河内長野市）

第2回 歴史的建造物と防災-1

7月10日（土）rojica（ロジカ）（泉南市）

第3回 歴史的建造物と防災-2

9月11日（土）奥野家住宅（豊中市）

6. 全国登文会からの報告

7. 御財印帳の取り組み

御財印めぐり

「スターターセット」販売

8. あとがき

（5月28日（土）酒蔵映画祭のお知らせ）



昨年度、コロナ禍のために集まって総会が開けなくなり、リモートで総会を開催しましたが、新型コロナウイルスの感染が一向に治まらず、本年もリモートで総会をせざるを得なくなりました。

夏には、日本で2回目の東京オリンピックが、1年延期され、開催されることになっておりますが、その開催方法について議論がされております。

このような社会状況ですが、登録有形文化財の件数は、毎年、増加しており、2020年1月には、全国で12,443件、大阪で747件であり、2021年3月には、全国で13,097件、大阪では、774件(261ヶ所)と順調に伸びております。特に大阪は、現在でも全国一の件数を誇っております。

今年度の活動については、大阪府建築士会と協同でおこなっている文化庁の補助事業の経費が昨年を約100万円上回る1920万円が認められており、昨年度の継続の事業を行っていくこととなります。しかし、この補助事業は、今年で5年目となり、文化庁の方針で、来年度1年間は、これまでの成果を反省する年ということになっており、補助金の要望ができません。

今年度の事業として、昨年度に続き、泉南市の御財印の委託事業のほか、公益財団法人 全国税理士共済会文化財団の助成事業として「地域文化の振興をめざして」3回の講座を開催することになっております。

コロナ禍のなか、その対策に十分配慮し、進めていきたいと考えております。

令和3年度 大阪府登録文化財所有者の会 第17回 総会 議案

今年度の総会も、新型コロナウイルスの感染に伴い総会で全員が会合することができなくなったため、運営委員が参集し議決すると共にそれ以外の正会員については書面議決を行った。その結果、全議案について当日、参加した正会員4名および書面議決46名(FAX34名、封書2名、メール10名)の全員が賛成であり、承認された。

議案1号 令和2年度事業経過報告

1、書面における総会の開催

第16回 総会(書面による総会)

- (1) 事業経過報告、決算報告、監査報告が承認された。

2、大阪府建築士会主催の文化庁補助事業への協力(事業費:1797万円)

- (1) 大阪府登録有形文化財ポータルサイトの作成

このサイトには、大阪府登録有形文化財について中国語(簡体字)および韓国語でも表示した。

- (2) 地域の情報発信事業

「南河内歴史的建造物マップ」を作成した。

- (3) 大阪府ヘリテージマネージャー育成事業

10日間で40単位の講座を行い、ヘリテージマネージャー27名を育成した。ｽﾌﾟｯﾌﾟﾌﾞ講座を2回開催した。

- (4) 登録文化財の活用を通じて保存を学ぶ

登録有形文化財で見学とワークショップ等を行い、周辺地域の視察も行った。

- ① 奥野家住宅 薬藍(すくもあい)で染めを楽しむ。
- ② 兒山家住宅 瓦の拓本を通して歴史を感じる。
- ③ 岩根家住宅 酒蔵で楽しむ『弁士付無声映画－浮草物語』

④ 藤井家住宅 江戸古民家で大阪欄間に
ふれる。

⑤ 源ヶ橋温泉 『能面』から見る能の魅力
を知る。

(5) 登録有形文化財の説明版の作成
登録有形文化財 18 箇所分を作成した。

(6) 講談のすすめ
中之島図書館で玉田玉秀斎の大阪講談等
を行った。

3、令和 2 年度文化庁から業務（NPO 等による
文化財建造物管理活用の自立支援モデル検
討事業）を受託「国登録有形文化財建造物
の保存と活用のシステムの構築と課題」が
採択

保存活用マニュアルを作成した。

4、「歴史的建造物を活用した誘客事業実施支
援業務」を泉南市から大阪登文会が受託
御財印帳を泉南市と共に作成。（読売新聞・
時事通信社・南海電鉄沿線広報誌に掲載）

5、運営委員会の開催（11 回開催）

5 月 20 日、6 月 17 日、7 月 15 日、8 月 19
日、9 月 16 日、10 月 21 日、11 月 18 日、12
月 16 日、1 月 20 日、2 月 17 日、3 月 17 日

6、全国登文会等各種団体との交流

(1) 他都府県の登録有形文化財所有者の団体、
すなわち①京都、②秋田、③愛知、④群馬、
⑤東京、⑥和歌山、⑦三重、⑧神奈川の各
登録文化財の会との交流を行った。

(2) 国登録有形文化財全国所有者の会（略称：
全国登文会）の第 2 回総会を令和 2 年 6 月
27 日に Zoom 方式で行った。

(3) 衆議院議員浮島智子・柏木淳秘書・藤村昌
隆大阪府府議会議員を令和 2 年 9 月 24 日
に意見交換をおこなった。

(4) 全国登文会正副会議に参加した
4 月 4 日、8 月 12 日、10 月 14 日、12 月

15 日 2 月 9 日

(参考) (敬称略)

全国登録有形文化財所有者の会 役員名簿		
理事長	寺西 興一	大阪
副理事長	小栗 宏次	愛知
副理事長	塚本 喜左衛門	京都
副理事長	渡辺 俊司	東京
理事	石川 歌一	秋田
理事	北川 紘一郎	群馬
理事	中野 明彦	和歌山
理事	大西 武夫	三重
理事	長島 孝一	神奈川
理事 事務局長	青山 修司	大阪
監事	小山田 明	秋田
監事	佐滝 剛弘	光華女子学園
顧問	後藤 治	工学院大学
事務局	小栗 真弥	愛知

7、大阪府建築士会ヘリテージ委員会への参加
文化庁補助事業等を実施するための基本方針
を行うためにヘリテージ委員会に大阪登文会
の立場で参加した。委員会のメンバーは、以
下のとおり。

(参考) (敬称略)

公益社団法人大阪府建築士会社会貢献部門ヘリテージ委員会			
担当副会長	濱田 徹	委員	尾谷雅彦
特任相談役	山地康夫	委員	北野哲也
部門長	仙入 洋	委員	阪田晴宏
委員長	所 千夏	委員	清水正勝
副委員長	青山修司	委員	寺西興一
副委員長	昇 勇	委員	堀平 進
委員	茶之木宏次	委員	水谷清乃

8、大阪府ヘリテージマネージャー協議会への
参加

文化庁補助事業等を実施するための実務を行
うためにヘリテージ協議会に大阪登文会の立
場で参加した。協議会のメンバーは、以下の

とおり。

(参考)

(敬称略)

大阪府ヘリテージマネージャー協議会運営委員会			
会 長	茶之木宏次	委 員	小谷川 勝
副会長	青山 修司	委 員	濱野 宏明
副会長	埴平 進	委 員	岡崎 善久
会 計	宮上日奈子	委 員	森島 吉幸
監 査	田中 則明	委 員	大西 泰弘
委 員	寺西 興一	委 員	水谷 敢
委 員	小林 美登	委 員	常山 哲男
委 員	盧 永春	委 員	石田 香澄
委 員	水間 徹雄	委 員	川上 宏
委 員	信藤 勇一		

議案 2 号 令和 2 年度 決算 (別紙)

議案 3 号 令和 2 年度 監査報告 (別紙)

議案 4 号 令和 3 年度 役員改正

(敬称略)

会 長	寺西 興一	(再任)
副 会 長	兒山万珠代	(再任)
副 会 長	奥野 孝子	(再任)
副 会 長	岩根 正尚	(再任)
副 会 長	南川 孝司	(再任)
事務局長	青山 修司	(再任)
会 計	昇 勇	(再任)
監 査	小谷 寛	(再任)
監 査	神谷 悠実	(再任)

議案 5 号 令和 3 年度 事業計画

I 重点課題

1、大阪府建築士会主催の文化庁補助事業 (事業費 1920 万円)

(1) 大阪府登録有形文化財ポータルサイト

大阪府の登録有形文化財の検索が日本語及び英語・中国語(繁体字・繁体字)・韓国語できるようになったが、さらにフランス語でもできるようにする。さらに VR 動画・音声

ガイド・近代建築用語集等を作成する。

(2) 地域の情報発信事業

先に作成した南河内地域に引き続き、北河内・中河内地区の MAP を作成する。

(3) 登録文化財建物の案内説明版の制作

これまで建物の概要等の案内板を作成し、建物に設置し、来訪者に情報を提供してきた。今回も 18 箇所を設置する。

(4) 大阪府ヘリテージマネージャー育成事業

10 回の育成講座(20 名)及び 2 回のステップアップ講座(30 名)を開催する。

(5) 登録文化財の活用を通じて保存を学ぶ

登録有形文化財の視察に加え、ワークショップを行い、建物の素晴らしさを知ることによって、保存の大切さを知る。また、その周辺の街並みについて案内人が説明することによって観光ガイドの人材を育成する。

(6) 大阪講談の楽しみ方

大阪講談の魅力を発信し、東京オリンピック講談戦隊・伍輪者として活躍している玉田玉秀齋講談師に話してもらおう。

2、全国登文会等との交流・支援

(1) 全国登文会の活動

(2) 全国登文会フェスタの実施

(参考)

<全国組織の状況>

(1) 全国国登録有形文化財所有者の会連絡会 (略称:全国登文会連絡会 H28.11.13 設立)

(2) 都府県の登録有形文化財所有者の団体

①京都市国登録文化財所有者の会(H19.4.22 設立)

②秋田県登録文化財所有者の会(H21.12.6 設立)

③愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会(H23.6.26 設立)

④群馬県登録文化財協会(H23.12.3 設立)

- ⑤東京都登録有形文化財建造物所有者の会
(H23.12 設立)
 - ⑥和歌山県登録有形文化財所有者の会
(H25.3.23 設立)
 - ⑦みえ登録有形文化財建造物友の会
(さんとうぶん) (H29.11.23 設立)
 - ⑧神奈川県登文会 (H30.4.8 設立)
 - ⑨福岡県所有者の会 (仮称) 設立準備中
 - ⑩阪神登録有形文化財伴の会
- 3、小冊子「大阪府の登録文化財(2022年版)」
小冊子「大阪府の登録文化財(2012年版)の
改定に向けて準備を行う。
- 4、歴史的建造物を活用した誘客事業実施支援
業務委託(泉南市)
- 5、令和3年度公益財団法人全国税理士共栄会
文化財団 助成事業
フォーラム:歴史的建造物の保存と活用に向
けて
5月22日(南天苑)・7月10日(rojica)
9月11日(奥野家住宅)
- 6、ウィズコロナに対応した文化資源の高付加価
値化促進事業の募集に天理時報社様と共同で
応募した(文化庁)

II 通常課題

1. 総会と運営委員会の開催

総会及び運営委員会の開催

年間の事業計画と事業報告のために、総会(年1回)とを開催する。

文化庁補助事業等の基本方針を行うためにヘリテージ委員会へ大阪登文会の立場で参加した。

2. 会報の発行

会報「大阪登文会だより第16号」の発行

3. 文化財に関わる講演会等の開催

昨年度の文化庁の補助事業である「国登録有形文化財建造物の保存と活用のシステムの構築と課題」について講演会等を開催する。

4. 会員所有の登録文化財に関わる情報交換や活動支援

(1) 登録文化財で開催されるイベント等を大阪文化財ナビ・大阪登文会のホームページに掲載する。

(2) facebook等のSNSを活用する。

5. 会員相互及び文化財所有者等との交流会や親睦会を行う

議案6号 令和3年度 予算

議案2号(R2年度決算)、議案3号(監査報告)及び議案6号(R3年度予算)

別紙
(単位:円)

収入

科目	項目	摘要	R2年度 予算	R2年度 決算	差額 決算-予算	摘要	R3年度 予算	摘要
A	前期繰越金		830,683	830,683			997,079	
B	余費		340,000	346,000	6,000	2000円*173口	340,000	2000円*170口
	年会費	2000円*170口						
	冊子販売	500円*30人	0	0	-12,500		0	
C	事業費		10,000	10,000	0	事業なし	10,000	500円*20人
	複製会参加料	500円*20人	0	0	-10,000	事業なし	10,000	500円*20人
	講演会参加料	500円*30人	0	0	-150,000	事業なし	0	懇親会なし
D	交際費		158,000	11,650	-4,150		15,000	機器買出料等
	複製会	プロジェクト-使用料等						
E	雑収入		5	3	-2		5	金利
F	当期収入(B~E)		538,305	357,653	-180,652		375,005	
G	収入合計(A+F)		1,368,988	1,188,336			1,372,084	

支出

科目	項目	摘要	R2年度 予算	R2年度 決算	差額 決算-予算	摘要	R3年度 予算	摘要
H	事業費		200,000	0	200,000	準備作業なし	200,000	冊子改定原簿編
	複製会	設置代金等	30,000	0	30,000	事業なし	30,000	複製会
	講演会	設置代金等	30,000	0	30,000	事業なし	60,000	講演
I	広告宣伝費		60,000	39,711	20,289	レンタルサーバー-ソフト	60,000	HP更新-WEB作成ソフト等
J	諸会費		50,000	45,452	4,548	他団体会費等	50,000	全国啓文会-全近等
K	通信費		50,000	75,678	-25,678	郵送料	100,000	各種贈送品-事業費等
L	印刷費		50,000	1,639	48,361	年報印刷代など	150,000	年報-資料-封筒-名刺印刷等
M	旅費		150,000	0	150,000	旅費	100,000	旅費
N	会議費		56,400	0	56,400	買置料	20,000	買置料,WEB会議費用
O	交際費		150,000	0	150,000	懇親会謝金	0	懇親会なし
P	事務費		50,000	28,777	21,223	発送作業-手数料	50,000	発送作業-手数料
Q	雑支出		10,000	0	10,000	贈支出なし	80,000	案内旗等
R	予備費		20,000	0	20,000	予備費支出なし	20,000	
S	当期支出(H~R)		906,400	191,257	715,143		920,000	
T	当期収支(F-S)		-368,095	166,396			-544,995	
U	次期繰越金(A+T)		462,588	997,079			452,084	
V	支出合計(S+U)		1,368,988	1,188,336			1,372,084	

議案3号 令和2年度決算監査報告

令和2年度の「大阪府登録文化財所有者の会」の収支決算について、関係書類を審査した結果、収入、支出とも適正かつ正確に処理されていることを認めます。

監査 小谷 寛 印

神谷 悠実 印

令和3年度大阪府ヘリテージマネージャー育成講座内容

公益社団法人大阪府建築士会

回次	日曜	開始時間	単位数	内容(予定)	講師	会場(予定)
1	8月28日(土)	13:00	4	オリエンテーション	所 千夏 (公社)大阪府建築士会 理事 ヘリテージ委員会 委員長 兼	綿業会館 本館
		13:30		歴史的建造物の保存活用と文化財保護法	野村 光広 文化庁文化財調査官	
		14:55		大阪府内の文化財	神谷 悠実 大阪府教育庁文化財保護課	
		16:15		登録文化財とヘリテージマネジメント	畑田 耕一 大阪大学 名誉教授 大阪府登録文化財所有者の会 名誉会長	
2	9月4日(土)	13:00	2	改修・再生のプロセスと考え方 —保存活用のマネージメント—	藤岡 龍介 藤岡建築研究室 主宰	奥野家住宅 (豊中市)
		15:00	2	歴史的建造物の保存と活用の提案 —所有者の視点を中心に—	青山 修司 大阪府登録文化財所有者の会 及び 国登録有形文化財全国所有者の会 事務局長 兼	
3	9月18日(土)	13:00	4	実測調査講座 活用提案課題説明	昇 勇 昇設計室 代表 兼	中井家住宅 (黄面市)
				実測調査演習	大阪府ヘリテージマネージャー	
4	10月9日(土)	13:00	2	日本住宅の歴史	桐谷 邦夫 京都建築専門学校 副校長	観心寺 中院
		15:00	2	社寺建築の歴史と変遷	櫻井 敏雄 (公社)和歌山県文化財センター 理事長	
5	10月23日(土)	13:00	2	民家・町家の分布と変遷	中川 等 大阪産業大学 准教授	阿倍王子神社 参集殿
		15:00	2	大阪の近代長屋	和田 康由 大阪市立都島第二工業高等学校 元教諭	
6	11月6日(土)	13:00	2	近代建築の歴史	笠原 一人 京都工芸繊維大学 助教	綿業会館 新館
		15:00	2	歴史的建造物の修復概論 —建物のライフサイクルを考える—	足立 裕司 神戸大学 名誉教授	
7	11月27日(土)	13:00	2	構造概論 —構造のイロハから木質構造の現在まで—	村上 雅英 近畿大学 教授	大阪府 建築士会
		15:00	2	伝統工法木造建物の耐震性能の特徴と 耐震補強における課題	瀧野 敦夫 大阪工業大学 特任准教授	
8	12月11日(土)	13:00	2	伝統建築技法—木の話から—	鳥羽瀬 公二 (株)鳥羽瀬社 専務 (株)鳥羽瀬社 建築設計事務所 代表取締役 会長 兼	調整中
		15:00	2	大阪の都市史と街並み	岡 絵理子 関西大学 教授	
9	12月18日(土)	13:00	2	歴史的建造物と関係法合	山部 光訓 (公社)大阪府建築士会 専務理事 石黒 一郎 堺市 建築防災推進課 兼	中之島図書館 別館
		15:00	2	文化財の防災対策	吉村 英祐 大阪工業大学 特任教授	
10	1月15日(土)	13:00	4	実測演習講評 活用提案の発表・講評	大阪府ヘリテージマネージャー	中之島図書館
		16:30		育成講座を終えて	所 千夏 (前出) 兼	

講師欄の※は大阪府ヘリテージマネージャーを示す。

* 8月28日の講義終了時間は17:30(予定)。終了後、懇話会を検討中。(コロナ感染状況等により中止になる場合があります)
見学先や会場などの都合により、会場や受講時間帯が変更となる場合があります。 2021/07/27版



BUN・KATSU

はじめよう、 文化財の活用

毎回異なる国登録有形文化財を会場に、ワークショップや建物見学、まち歩きなどを行います。所有者から保存と活用の取組事例や課題についてのお話を伺いながら、活用を通して文化財を保存する力、いわゆる「活用文化財」を学ぶ講座です。

定員 24名程度
参加費 1500円/回
全5回（申込要請可）
費用、場内と内容が異なります



〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
国登録有形文化財 旧本町郵便局

国登録有形文化財（増田市）
第1回 **小谷城郷土館** 竣工 2021 [集合] 13:15 現地（裏面地図参照）
江戸後期 10/24(日) 13:30～16:30

鎌倉時代から続く小谷家で楽しむ 「和菓子作り」

講師：出口勝正 「菓子処ふる里」店長
奥座敷で季節の和菓子を作り、お抹茶とともに味わい、はるか遠くの歴史に想いを巡らせてみませんか？

13:30 小谷城郷土館見学・所有者のお話 → 14:30 ワークショップ（和菓子作り） → 16:30 終了



国登録有形文化財（大原市）
第2回 **源ヶ橋温泉** 竣工 2021 [集合] 13:15 JR磯沢橋「侍町」駅北口改札
昭和12年 11/28(日) 13:30～16:30

「銭湯×JAZZ」

講師：茶之木一世 ピアニスト・作曲家・編曲家
がつくダンスホールとしても親しまれてきた源ヶ橋温泉。JAZZの名曲やリクエスト曲の生演奏で歴史を辿りながらオシャレな時間を過ごしてみませんか。

13:30 「侍町」駅出発 → 14:00 源ヶ橋温泉見学・所有者のお話 → 14:30 ワークショップ（JAZZ） → 16:30 終了



国登録有形文化財（貝塚市）
第3回 **吉村家住宅** 竣工 2021 [集合] 13:15 南海本線「貝塚」駅改札
江戸中期 12/4(土) 13:30～16:30

「森のねんどのまちづくり」

講師：岡本通康 人形作家

古民家で大人も子供も楽しめる占野杉の木屑を使った「森のねんど」で自分だけの小さな世界をつくってみませんか。

13:30 「貝塚」駅出発 → 14:00 吉村家住宅見学・所有者のお話 → 14:30 ワークショップ（森のねんど） → 16:30 終了



国登録有形文化財（豊中市）
第4回 **旧羽室家住宅** 竣工 2022 [集合] 12:45 現地（裏面地図参照）
昭和前期 1/22(土) 13:00～16:00 ※現地集合が異なります

「能の入り口に入ろう」

講師：林本大 能楽師観世流シテ方準職分
一座は能を見くみたいた方、実は沢山。そんな方に歴史や台詞、所作や能面等分かりやすくお話をします。

12:45 旧羽室家住宅・原田城回り・建物見学 → 14:00 ワークショップ（能） → 16:00 終了



国登録有形文化財（門司市）
第5回 **願得寺** 竣工 2022 [集合] 13:15 門司市立歴史資料館
江戸初期～ 2/19(土) 13:30～16:30

「水引で愉しむ雛の節句」

講師：淵本優子 和のコトデザイン

日本伝統の和紙と水引で雛の節句きな粉包みを作ります。水引の「あわじ梅結び」と、心を贈る折形の包みをご紹介します。日本古来の包み結ぶ文化を愉しんでみませんか？

13:30 門司歴史資料館見学 → 14:00 願得寺見学・所有者のお話 → 14:30 ワークショップ（水引制作） → 16:30 終了



大阪文化財ナビ

『大阪文化財ナビ』サイトに新しく「動画探訪」および「音声ガイド」のページが追加されました。



「動画探訪」は視覚と聴覚から歴史的建造物を観光客等に伝えることができ、新型コロナウイルス等の蔓延時において、人の手を介さず観光客説明を行うメリットがあります。「音声ガイド」についても美術館での作品解説を聞くのと同様に、地域を美術館、建造物を作品と捉え、観光客等の周遊の一助になります。

このサイトは他に、観光、防災、災害対策、インバウンド、情報交換などの機能も備えてい

ます。多言語化としては英語、中国語（繁体字）（简体字）、韓国語、に加えフランス語を追加しました。歴史的建造物の用語解説集においても多くの方に詳しくかつ容易に理解してもらえる近代建築用語解説を追加しました。また引き続きニュースの発信も積極的に行っていきます。

大阪文化財ナビ

このサイトについて | ヘリテージマネージャーとは | 各種講座案内 | 掲載施設 | お問い合わせ | 検索 | 日本語



NEWS

最新情報

最新情報

- 泉南の文化遺産をめぐる！「開明のゆり」＆「スターターセット」
- 5/28日（土）湧泉映画祭（若狭家住宅 酒蔵）
 - 4/20日（水）27日（水）の一般公開「地蔵堂日本画展」
 - 3/12日（水）～29日（火）Factor534「アトアタラ〜」
 - 3/5第2回 大阪府ヘリテージマネージャー・スキルアップ講座
 - 2/23第1回 大阪府ヘリテージマネージャー・スキルアップ講座
 - 2/26日（土）第18回古田園之ファンフェスタ（若山ゼル）
 - 2/15日（土）3/15日（土）「事業承継〜後継者のメソッド〜」
 - 2/11/19日（土）築山園遊寺（門真南）「はじめよう、文化財の〜」
 - 2/10/18日（木）道乃会アブス〜事務局・朝陽区長に聞く〜

1/10/17

5/28日（土）湧泉映画祭（若狭家住宅 酒蔵）

涌泉映画祭（若狭家住宅 酒蔵）大賞作 露城祥平にございませう 若狭家住宅 酒蔵 同僚録有物文化財 中心で調査報告書 公開されました。田中朝代主演『伊豆の舞子』野上・遊化式

動画探訪

動画探訪

動画探訪

伝統工法

伝統工法

伝統工法

用語集

用語集

用語集

360° VR見学

360° VR見学

360° VR見学

音声ガイド

音声ガイド

音声ガイド

「歴史的建造物の保存と活用に向けて」 3回連続講座

平成16年秋から、大阪府内の国登録有形文化財所有者が相集い、所有者相互の親睦を図るとともに、登録文化財を所有することの誇り、責務や悩みなど、様々な情報交換や情報発信等によって、府民の登録文化財への関心を高めることが、更なる登録の促進にも寄与すると考え、「大阪府登録文化財所有者の会（以下「大阪登文会」という）」を設立し、活動を行ってまいりました。

登録文化財の多くが個人の住宅であるため、登録文化財の保存と活用の費用および安全性に悩む所有者及び関係者は多いことが活動を通じて明らかになっています。

そこで、今回、全国税理士共栄会文化財団の助成を受け、登録文化財所有者の切実な悩みを受け止め、その解決の手掛かりとなる方法を提起し、また、文化財を支えるサポーターとなる人材育成も目指す講座を企画しました。歴史的建造物を保存し活用することは、歴史的な景観や生活文化においても重要性であり、地域住民や専門家やサポーターの協力が欠かせないと私たちは考えています。歴史的建造物を残すことの意義を地域住民と共に考える、伝統的な工法や材料に触れる、消防や教育委員会などの行政や所有者・地域住民・専門家が一緒に防災や避難を学ぶことなど、いずれも歴史的建造物の所

有者が必要としていたことです。しかしながら、今までそのような講座は行われてこなかったと感じていました。それだけにこのような講座を行うことが、歴史的建造物を所有者個人の問題としてではなく、多くの人々がその重要性和価値を共有することにより、地域の活性化にもつながると期待しています。

具体的な講座内容ですが、20年間空き家状態だった大阪府の南河内地域に残る江戸時代の茅葺の古民家について、地域の景観を継承し保存することの意義、そして活用に向けての改修方法などを学ぶ講座を最初に開催しました。次に、地域住民や行政とともに、歴史的建造物における防災・避難等の安全性を確保するための講座を2回開催しました。会場は実際に活用されている登録文化財や歴史的建造物としました。登録文化財所有者の切実な悩みを受け止め、その解決の手掛かりとなる方法を、各講座で提起し、歴史的建造物の所有者・地域住民そして建築士やヘリテージマネージャー等と共に学ぶことにより、地域の歴史や文化を継承する意義を広く伝え、次世代を担う人材育成をめざすとともに、人々に歴史的建造物のサポーターになってもらえることをめざしています。





集合場所である南天苑から周辺の散策に出発。南海の廃線跡の遊歩道を通り、古民家久右衛門の内部見学、茅葺屋根の民家が多く残る高野街道沿いの歴史的景観を楽しみながら南天苑にもどりました。休憩時間にカラスノエンドウのお茶をいただきました。地元天見の農家の方々が育てられた薬草茶の伝統を受け継ぎ、南天苑の庭で育て、古民家で乾燥させて日替わりで様々な種類の薬草茶を提供されているそうです。建造物や景観のみではなく、暮らしの伝統文化を守り伝える南天苑の姿勢がうかがえます。

会場の南天苑は河内長野市天見にある天然ラドンを豊富に含んだ温泉旅館です。本館は辰野金吾設計事務所的设计による堺大演「潮湯」別館を移築した国登録有形文化財。南天苑の社長山崎一弘氏は時代の流れの中で改修されていた建物を当初の姿に復元し、そしてその雰囲気を変えないように今の時代に合わせた快適さを取り入れています。大演潮湯のかつての姿を描いた絵図を基に、大工さんや職人さんと一つ一つ相談しながら、元の素材を大切に、守るべきものを守り現代の生活スタイルとうまく適応させることを目指されています。

また、山崎氏は、南天苑から徒歩15分ほどの島谷地区にある長い間空き家となっていた古民家2件を購入、天保14年(1764)の建築とされる久右衛門と名付けたかつての庄屋屋敷と、慶応年間(1865-68)の移築とされる民家を元の茅葺

に復元したい、そして現在は金属屋根に覆われているが茅葺が多いこの地域を、以前のような茅葺集落に戻したいという願いをお持ちです。元々のまちなみをできるだけ残し、文化の記憶を残したいとのことでした。

第2部の講義は、尾谷雅彦氏から茅葺について詳しい説明をしていただきました。河内長野市の指定文化財の約半数は茅葺・こけら葺だそうです。植物性資材は20~30年ごとに葺き替えが必要となります。伝統的な技法を引き継ぐことは文化を守ることですが、瓦を含めた屋根資材の調達と職人不足が全国的な問題となっているそうです。河内長野市指定文化財の旧梶谷家住宅の茅葺き替え工事や岩湧山の茅場の動画で伝統的な工法や茅を育てる大切さを詳しく知ることができました。

近年「茅葺」「茅採取」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。「茅場」で生育し刈り取られて屋根材として利用され、古茅は家畜の飼料や田畑の肥料として役立ちます。茅場は生物多様性を維持することや、環境の循環に貢献しています。茅場は人の手を入れることで維持され、茅葺も地域の相互扶助の仕組みの中で支えられていました。茅葺を復元することは、歴史的景観の維持のみならず、環境の循環と人々のつながりを構築することが可能となる方法かもしれません。

山崎氏から、茅葺が建築基準法上の不燃材に当たらないが、どうすれば良いかという問いかけがありました。講座に参加の建築士や行政関係の方より、大規模修繕に当たらない範囲で茅葺改修するかあるいは復旧する方法や、建築基準法第三条3項の条例の利用、あるいは指定文

化財にして適用除外とする方法などの提案がされましたが、いずれにしても行政との協力が大切ではないかということでした。



第2回講座



会場となった泉南市榎井の rojica は、大正時代の赤煉瓦造の建造物です。紡績工場の機械類の設置の跡や天井には滑車が残るなど、当時の面影を色濃く残したリノベーションが行われました。店長の中川さとし氏が、インテリアや雑貨の卸売業のショールームとして開業、おしゃれな雰囲気な魅かれて地域の方が集るようになり、カフェとしての営業も開始しました。2008年よりスタートし、現在は①イベント開催 ②カフェ（憩いの場） ③インテリアと雑貨の販売の3本の柱が相乗効果を生み出すようになっています。「五感で感じる豊かな生活」をテーマに音楽や芸術・福祉など様々な分野のイベントを開催し、来て良かったと思っていただけの空間作



りと新たな賑わいの創出をめざされています。

大窪健之氏は、歴史都市防災研究所の活動の説明のあと、前回のテーマであった茅葺に関して防火や消火の方法、そして歴史的建造物は地域の避難場所や防災拠点としても活用できるのではという提案を、事例紹介と共に説明くださいました。

その後、「泉南市の歴史的建築物の防災」について泉南消防署田中健一氏のご講演予定でしたが、まん延防止等重点措置の適用により消防職員の派遣が中止となりましたので、泉南市教育委員会生涯学習課文化財保護係主幹兼係

長河田泰之氏より「たてもの御財印めぐり」についてお話いただきました。

泉州には長い歴史に培われた風格ある歴史的建造物が多数ありますが、その認知度は低く、誘客施設としての価値を発揮できていないそうです。そこで近年人気のある御朱印集めをモデルに、旅行者を歴史的建造物へ誘客することを目的とする御財印集めを企画されました。この事業には、大阪登文会も協力しています。御財印の頒布にかかる費用は当該文化財の維持管理の財源とし、これにより文化財を活用した収益事業の活性化と活用事業者の受け皿の掘起しを見込んでいるそうです。御朱印帳の鉄道版「鉄印帳」からヒントを得たもので、地域の文化的建造物の魅力発信と息の長い観光のきっかけ、そしてこれを機に歴史的建造物のサポーターが増えることを期待されています。

今回は田中氏の講義はありませんでしたが、その打ち合わせの中で知ったことは、火の恐ろしさ、火災が生じたら「知らせる」「消す」「逃げる」という万全の心構えで臨むこと、そして私たちには初期消火の義務が消防法で定められているということです。火災が生じると、多くが木造である歴史的建造物は無傷のままで残ることは困難です。歴史的建造物を守るために、私たちにはできることは何よりも火災を起こさないことです。そのためにはまず、住宅防火をしっかり考えていくこと。自身や家族の命や財産を火災や災害から守るには一体何を注意すべきなのか、もし火災が起こったらどうしたらいいのか、日頃からこれらのことを心の片隅に忘れず留め置くことが大切です。私たち一人一人が、そして地域の人々がその意識を持つこと…これが歴史的建造物を火災や災害から守る一つの方法かもしれません。そして、消火器を置く事、これが初期消火につながるのではと感じました。



第3回講座



豊中市中核塚にある国登録文化財の奥野家住宅を会場としました。土蔵と長屋門が立ち並び豊かな緑にかこまれた旧庄屋敷です。

大窪健之氏から、土蔵群や緑地帯の延焼抑止効果と、具体的な消火器の配置計画と消火器ボックスのアイデアをお聞きました。



大阪登文会事務局長青山氏の進行で、当主の奥野久栄氏から活用についてお話をいただきました。1995年の阪神淡路大震災で大きく被害を受けましたが、藤岡龍介氏の設計により改修の後、主屋の一部を利用して活用を始めました。1998年10月からスタートして、この9月に110回目のイベントが開催されるそうです。主屋の約半分をパブリックゾーンとして、音楽

会・展示会やワークショップなどに活用し、多くの方が楽しく集う場所となっています。地域の人々が集まり拠り所であった、かつての奥野家住宅の庄屋敷としての役割を、形を変えて担っているように感じます。

最後に豊中消防署栗茂氏より具体的な消火指導のもと、水消火器を用いた消火訓練を行いました。消火器の重さやノズルの勢いなどを突

感することができました。消火器を触るのが初めての方や、家に消火器はあるけれど使い方を知らない方などが多く、貴重な体験となり、また、いざというときに今日の体験が役立ってほしいと思いました。もちろん、そのようなことがないように、しっかりと防火に取り組みたいと思います。そして、設置義務がなくても消火器は設置したいものです。



アンケートの意見

講座参加者アンケートの意見では、「維持管理の大変さと思い入れが感じられました。」「当初の姿に修復し活用する所有者の苦勞が伝わりました。」「大きな木造古民家の維持・復原などの苦勞がわかった。」「地域おこしで旧紡績工場の活性化、継続して活動されていることに感動しました。」「文化財は後世に残して欲しものであり、残さなければならないものである。応援をしています。」「滅びゆく素材・技術などについて仕組みを伝えていくことの大切さがよくわかりました。」「日頃の心掛けのきっかけとして防災訓練はしておくべきでは…と思う。」「歴史的建造物を守るためには住民一人一人の気持ちが大事」などの意見や感想がありました。是非、歴史的建造物のサポーターとなり、その大切さを人々に伝えてくださればと願っています。

まとめ

長い歴史を持つ建造物の多くは、先人達の様々な工夫によって、数々の災害に耐えてきた建物です。周辺環境の悪化や部材の朽損・弛緩の見逃し等は、その建造物が本来保持してきた強さを失わせ、災害への抵抗力を大幅に下落させる原因になります。防災、防火、避難等の安全性を確保するための措置を講じることによって、歴史的建築物の保存と活用の両立が可能となります。貴重な資源である歴史的建築物を、良好な状態で次世代に繋いでいくには、その景観的・文化的価値や、適切な管理方法を十分に認識した上で、きちんと使い続けていただくことが大切です。

最後に、この貴重な機会を与えてくださり助成していただきました全国税理士共栄会文化財団に感謝を申し上げます。

令和3年9月14日
大阪府登録文化財所有者の会

全国登文会からの報告

本年度は文化庁とオンラインや電話での会議が主でした。そのような状況の下、全国登文会として（寺西理事長・渡邊副理事長・中野理事・青山事務局長以上4名）令和3年10月18日に、文化庁訪庁をし、都倉文化庁長官に全国登文会の税制等の要望の書面をお渡しいたしました。会談を行いました。

その前後には、文科省税制専門官、文化庁第二課・資源活用課・参事官とも会談を行い税制改善要望、支援策等について意見交換をいたしました。

引き続き、オンライン会議や電話を続けております。



御財印めぐり 「スターターセット」販売



御財印帳

サイズ：縦16cm 横11cm 片面22ページ
両面使用可

色：薄紫 黄 赤 緑 ※それぞれ数に限りがあります。

サコッシュサイズ：縦24cm 横17.5cm 販売価格：セットで2,000円

ご希望は登文会まで 連絡先メールアドレス：info@osaka-tobunkai.org



あとがき

3年目に突入したコロナ禍は、より感染力の強い株に変異し、6波まで拡大しております。こうした状況ですが、会議もリモートと併用するなどコロナ対策を工夫しながら、活動が行われてきました。当会では、これまでの文化庁の補助事業に加え、全国税理士共栄会文化財団の助成事業や泉南市からの委託で御財印の作製事業を進めてきました。

また、個々の文化財では、大阪市が「久金属工業」や「鴻池組旧本館」の見学会を主催し、多くの参加者があり、非常に好評でした。そして、「鯛よし百番」では、修復の修繕費を捻出するためにREADYFORにより、クラウドファンディングが行われ、目標額1500万円を上回る1884万円が812名の支援者により、達成され、修復工事が行われています。それぞれが知恵を出し合って、前へ進めておられることに感謝しております。

(文責 寺西 興一)

大阪府登録文化財所有者の会 主催

酒蔵映画祭

令和4年5月28日(土) 13:30~16:30

弁士付き無声映画

田中絹代主演『伊豆の踊子』

会場：岩根家住宅 酒蔵（富田林市）

弁士：遊花氏

講師：濱口十四郎氏



文化財建造物や酒蔵の見学・濱口氏による映画の歴史のお話
豊かな空間の酒蔵で、情感あふれる遊花氏の語りによる無声映画鑑賞
濱口氏・遊花氏とのフリートークなど盛りだくさん！！

- ▼ 募集定員 30名程度（申込先着順） ▼ 参加費 ￥2,500
▼ 申込方法 カルテット・オンライン（氏名・メールアドレス・電話番号が必要です。）
<https://www.quartet-online.net/ticket/otoubun20220528>



カルテット・オンライン

- ▼ お問い合わせ先 大阪府登録文化財所有者の会 事務局（寺西）TEL：090-5136-6989

岩根家住宅：富田林市五軒家2-7-1 南海電車・大阪狭山市駅より徒歩15分



江戸時代の主屋・明治時代の酒蔵・昭和の大樽の茶室など敷地内にある8棟の国登録有形文化財によって、江戸時代後期以降の民家建築の変遷と、屋敷内工場遺構を知ることができる。広く高い空間の酒蔵には、天井の滑車や酒槽、燗瓦の煙道などが残され、当時のポスターや銘酒ラベル、酒造りの道具や設備が展示されている。

